

# 令和5年度重層的支援体制整備支援業務委託仕様書

## 1 委託業務名

令和5年度重層的支援体制整備支援業務  
(アウトリーチ、多機関協働及び参加支援に関する研修)

## 2 目的

重層的支援体制を整備するに当たり必要となるアウトリーチ、多機関協働及び参加支援の取組等についてのノウハウを学ぶ機会を市町村等に提供することにより、支援体制整備の促進を図ることを目的とする。

## 3 委託業務

- (1) 研修会の企画
- (2) 研修会の運営
- (3) 会場の予約、支払い
- (4) 講師の手配、謝金(交通費含む)の支払い
- (5) 研修アンケートの作成・取りまとめ
- (6) 研修動画の納品
- (7) その他

## 4 仕様内容

### (1) 研修会の企画

#### ア 開催日数

2日間(各3～4時間程度)

※研修1日目はオンライン(Zoom)による研修

研修2日目は実地(県内2か所)での研修

#### イ 開催時期

研修1日目… 9月頃

研修2日目… 11月頃

#### ウ 研修内容等

##### ①研修1日目

(研修内容)

- ・ 重層的支援体制整備に関する総論(地域共生社会に関するこれまで

の流れ、重層的支援体制整備事業の制度化の背景、重層的支援体制整備事業及び交付金の概要、国・全国自治体の動向等)について説明を行う。

- ・ 高齢、障害、子ども、生活困窮等の複合的な課題に対するアウトリーチ、多機関協働及び参加支援の知識・技法等の向上を目的とした講義と演習（グループワーク）を実施する。（アウトリーチの対象となる当事者の特性や支援、社会資源の活用や関係機関と連携した支援方法及び参加支援の具体的な取組方法等について、講義と演習により理解を深め、それぞれに必要となる専門性が身に付く内容とする。）
- ・ アウトリーチ、多機関協働及び参加支援の先進的な取組を行う団体等から事例発表を行ってもらおう。
- ・ 受講者が現場に戻り実践してもらおう課題を提示し、2日目の研修につなげる。

(参加対象者)

市町村（重層的支援体制整備担当課）、市町村社会福祉協議会、地域包括支援センター、基幹相談センター等の相談支援機関の職員200名程度。

(実施方法)

オンライン（Zoom）により実施

## ②研修2日目

(研修内容)

- ・ 1日目の研修内容の確認
- ・ 1日目に提示した課題に対する取組・課題等を整理した上で、研修生間での情報共有等を目的とした演習を行う。
- ・ アウトリーチ、多機関協働及び参加支援の取組の応用編（1日目の研修内容よりもより実践向けの内容）について講義・演習を行う。

(実施方法)

集合形式の研修（県内2か所）

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、オンライン（Zoom）により実施に変更の可能性あり。

また、委託料の取り扱いは、以下の「4 委託料について」のとおりとする。

(参加対象者)

原則、1日目の研修に参加した者

※ 講師、研修内容詳細については受託者からの提案によるものとするが、最終的には県と相談の上、決定するものとする。

(2) 研修会の運営

- ア 会場の設営
- イ 研修会の進行
- ウ オンライン機器の操作

(3) 会場の手配、支払い

- ア 会場の選定、予約
- イ 会場との調整
- ウ 会場費の支払い

(4) 講師の手配、謝金（交通費含む）の支払い

- ア 講師の選定
- イ 講師との調整
- ウ 謝金の支払い

(5) 研修アンケートの作成・取りまとめ

- ア 2日間の研修アンケートの作成
- イ 参加者から提出されたアンケートの集計
- ウ 集計結果を県に提出

(6) 研修動画の納品

オンラインにより実施した研修については録画し、データを県に納品する。

(7) その他

その他、円滑に研修の運営が行えるように必要な事項に対して取り組むものとする。

**5 委託料について**

講師謝金（交通費含む）、及び実地による研修の場合の会場費についても

含むものとする。

## 6 その他

事業実施にあたっては、企画提案競技を実施し、他者よりも優れた提案をした者に当該業務を委託するものとする。